



浅野みえ子



所沢市議市政レポート NO.23

2010年 5月吉日
3月定例議会報告

所沢東口・第2市民ギャラリー敷地の有効活用を求めました
公共施設を含めた活用を23年度からの
第5次総合計画に盛り込んでいくと市長が答弁



浅野質問

1. 市長は、所沢駅東口方面に公共施設が無いとの住民の訴えに対して「第2市民ギャラリー敷地を有効活用したい」と、以前話された。検討しているのか？
20年以上放置している市有地を今後も、放置し続けるのか？
2. 新所沢地域には多くの公共施設があるが、24年度に新公民館を含めた多目的公共施設が完成する。又「総合福祉センター中心の多目的公共施設」も、新所沢地域に創る計画もある。不公平感を持つ住民の思いを、どう受け止めるのですか？

当麻市長答弁

1. あの敷地は、開発等の時の代替え地を想定して保留しているが、市有地の有効活用を踏まえた上で、23年度からの「第5次総合計画」に盛り込んでいきたい。
2. 住民の方の思いは理解できるが、総合福祉センターは長年の懸案だった。又厳しい財政の折りだが、ギャラリー敷地は民間の力をお借りして「公共施設含む活用」を考えたい。今後、みな様からのご提案もいただきたい。



夜間工事 グリーンベルト
が拡幅し、車はゆっくり走る



歩行者の安全対策

道路表面の凸凹をなめらかにして、
グリーンベルトを拡幅しました
—— 所沢駅南側・大踏み切り ——

ラッシュ時には1時間のうち、50分は閉まっている開かずの踏み切りです。ひとたび、遮断機が開くと、車、自転車、歩行者等が一斉に通行始めるので事故の危険性が高いです。この為に地元の東住吉町内会（鈴木由紀子会長）が中心になり、南陵中学校教頭、愛校会会長と浅野が、安全性を求め、西武鉄道（株）と所沢市に要望しました。よって、踏み切りに接する道路は市が、踏切り内は西武鉄道が工事して完成しました。新学期に南陵中学校の生徒さん方が笑顔で利用しています。

議員 9 人で「議会報告会」をします・ご参加下さい
5月12日(水曜) 午後7時～市役所議会棟・全員協議会室



議会には、二元代表制の一翼である議決機関として、執行部に対しての監視、調査機能の充実を含めた責任ある議会活動が求められています。所沢市議会では、議会としてあるべき姿、理念を掲げる議会基本条例が必要と考え、議員自らの力で「議会基本条例」を制定しました。(平成21年2月制定) その後の議会では

1. 一般質問がこれまでは、3回しか出来なかったのですが、条例が出来て「一問一答」になり、何回も質問できるようになりました。よって質問と、答弁が分かりやすくなりました。
 2. 議案に対する「議員一人ひとりの賛否」を、議会だよりやHPで公表する事になりました。
 3. 会派を超えて全議員協力のもと、議会として「議会報告会」を開催する事になりました。
- 今回報告する議員名は、荒川、小川、安田、城下、中村、吉村、杉田、浅野 です

子ども医療費助成事業が拡大
就学前までだったのが、22年度からは小学校3年生まで、全額公費負担となりました。 4,688万円

事業仕分け実施事業(仕分け人は公募)
既存事業の見直し 167万4千円

22年度から
新たに実施
する事業紹介

地域の底力支援事業
地域における課題を住民
自らが、解決し互いに支え
合う取り組みを支援する
・地域住民から「支援事業」
を提案募集
209万4千円

全面開通します「所沢村山線」

～地権者と市の契約成立～



↑「市道1-577号」



「市道1-590号」↑

浅野質問 所沢村山線が全面開通したら、近くの通学路「市道1-590号」と「577号」を一方通行にする事を求めます。又、市道1-590号と所沢村山線の交差点へ信号設置を求めます。

建設部長答弁

そのような規制が必要な場合は、地元の要望等を含めて関係課と検討・協議をしていきます。又、信号についても警察と協議します。



他市に迷惑をかけずに、自区内埋め立て地の早期実現を！

浅野質問

現在、不燃ごみは米沢市の山奥に埋めている。今年度から、約1千万円の環境保全協力金を米沢市は当市に求めて来た。米沢市議会では「山形県以外の投棄物を辞めさせるべきだ」との議論が多く、抑制策としての協力金だと聞く。又、運搬と埋め立てに、現在3億円がかかっている。東部クリーンセンター建設費に、約300億円の経費をかけ、うち焼却施設には約151億円かけた。経費をかけただけあって、ダイオキシン等の有害ガスが出ない「世界一安全な焼却炉」だと言われている。自区内処理の原則に従い「市内埋め立て地実現」に向けるべきだ。又、21年度に東部クリーンセンターで、廃プラ焼却の「実証試験」を実施し、その結果に対して専門家に意見を求めたが検証結果はどうだったのか？

環境クリーン部長

平成17年度に国が、「再生利用を推進しつつ熱処理を行う事が適当、最終処分は自区内処理が原則」と方針を出した。廃プラ焼却の方針が出ないと埋め立て量が決まらないので、市も審議会の答申を受けて廃プラ焼却の実証試験を行い専門家の意見を求めた。結果、環境への影響は少ないとの事。この結果を受けて焼却については3月末までに決定する。その後、処分場建設プロジェクトチームにより、自区内処理を進めていく。

3月
定例議会
私の
一般質問



保育士手当1,700万円を廃止し
「公立保育園運営費・過大投入を」

浅野質問 を解消すべきだ

公立保育園保育士は、35才で約555万円、50才で約800万円年収なので、年間5万4千円の保育士手当は廃止すべきだ。さいたま市川口市越谷市等ではすでに廃止された。県内他市であると言う自治体を調査したが、年収は所沢市と比べて低い。又、当市のように保育室を掃除する庁務士を雇用している処は無く、掃除は保育士が行っていた。和光市、春日部市では給食を民間委託して、公立園にかかる経費の削減に努力している。22年度には組合に提案すべきだ。

総合政策部長

22年度にまだある特殊勤務手当見直しの組合交渉を行う。その中に保育士手当も含める。

国からの運営費補助が削減されたら、公立園の場合は全額市が負担するのに、何故民間園運営費の

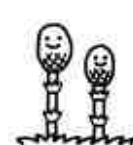
浅野質問

削減には市負担がないのか？

保育単価が下がり、120名定員の民間園が、約100万円の運営費が削られた。公立園の運営費が平成16年度から、国からこなくなった時に（年間4億円）市は、4億円全てを市負担で行った。社会福祉法人立である民間園に対してもサービスの低下を招かない為、同じように市が負担すべきだ。と考えるが見解は？

こども未来部長

人事院勧告に添って国の保育単価基準が下がったものだ。民間園がどこを削減するかは、各園の判断で行う事と思い、市が負担する事は今のところ考えていない。



活動報告：みな様の声をお聞きしています

1月

- 26日：藤井壯一氏講演「ネパールを語る・写真展」
- 27日：幼保小学校連携研究会へ・若狭小にて
- 29日：織物文化研究会の新年会へ
- 30日：埼玉県県民民主党研修会へ
- 31日：北秋津小学校遊ぼう会主催お餅つきへ
コーポラス睦美会新年会へ

2月

- 1日：民主党北関東女性議員フォーラムへ
 - 2日：教育福祉常任委員会打ち合わせ会
 - 3日：所沢市高齢者大学卒業式へ
 - 6日：所沢市連合婦人会新年会へ「セレス」
 - 8日：議員クラブ主催学習講演会
 - 9日：教育福祉常任委員会・療育支援について
南陵中学校愛好会幹事会へ
 - 10日：北の台公園に鉄棒設置を要望（実現）
 - 14日：「第26回所沢市吹奏楽祭」ミューズ
 - 16日：代表者会議（3月定例議会に向けて）
 - 17日：西武鉄道へ要望「所沢駅大踏み切りのグリーン
ベルトを拡幅し、歩行者の安全対策」
 - 18日：新中央公民館・新図書館竣工式
 - 19日：東海村へ「総合福祉センター」の視察
 - 23日～3月23日「3月定例議会」
- 3月
- 5日：南陵中学校丸山校長のご勇退を祝う会
 - 6日：民主党埼玉県連の大会へ
 - 11日：浅野「一般質問日」傍聴のみな様へ
感謝です・ありがとうございました
 - 13日：南陵中学校「卒業証書授与式」
 - 24日：北秋津小学校「卒業式」
 - 27日：「桑の実・本郷保育園」開園式
藤の実会「グループケアホーム」開所式
 - 28日：おのづか勝俊衆議院議員、国会報告会へ
- 4月
- 1日：「能面美術館展示会」「所沢点描展」へ
 - 2日：新中央公民館開館記念式典
 - 7日：吾妻荘へ・「吾妻地区長生クラブ総会」
 - 8日：南陵中学校「入学式」へ
 - 9日：川越市へ視察「中核市について」
 - 10日：吾妻地区地域福祉コミュニティ推進事業
 - 13日：松戸市視察「中核市を断念した理由は」
 - 14日：南陵中学校愛校会幹事会へ
 - 15日：議会だより委員会（3月だよりの校正）
 - 21日：教育福祉委員会「第4次総合計画検証」



廃プラ等の実証試験の結果報告を踏まえて「東部クリーンセンター」近隣5自治体」への焼却へ向けての市の説明会へ

4月18日19時～



みえ子のおしゃべり

今議会で市長が次のような発言をしました。「所沢市は今後、中核市を目指して行きたい」と。馴染みがない方もいらっしやる事でしょうが、中核市になると保健所を市で運営する事が出来ます。これを聞くと市民サービスが向上するのを感じます。私は早速、中核市の川越市や、中核市を目指したけど中止した松戸市を視察に行きました。そこで分かった事は、川越市は、保健所建設に約十七億円・運営費に年間約十五億円経費が必要との事でした。この費用は、国や県から来ません。全て、市税でまかなう事になります。職員が六十人以上増えるので将来の退職金も市税です。松戸市では「市民の大事な税金を使うのだから市民の方の意志が一番大事です」と言われ、情報を詳しく出して市民意識調査も行ったそうです。結果「政令指定都市になる事には意義があるけど、その過程で中核市になるメリットはない」となって、目指す事は辞めたそうです。所沢市では、十二月議会にこの計画が入った議案が出る予定です。みな様はどう思われますか？

浅野みえ子自宅

北秋津876-3所沢コーポラスH204

浅野みえ子事務所：靴のテイクワン向い

TEL(2995)1463

FAX(2991)3538

メール asanomieko@nifty.com

日々の活動をブログで報告しています

浅野みえ子で検索すると開きます